

西川株式会社に対する 「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、西川株式会社（代表取締役：西川 康行（通称 ハー行）、以下「西川」）に対し、「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」（※1）を実行しました。

本商品は、ポジティブ・インパクト金融原則（※2）に基づいて開発したインパクト評価フレームワークを活用し、お客さまが抱える社会的インパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響、※3）を包括的かつ定量的に評価します。その評価において「ポジティブ・インパクト創出が認められる」と確認された場合、当該取り組みの継続的な支援を目的としてファイナンスを行うものです。

西川は、「よく眠り、よく生きる。」という企業理念のもと、人生のすべてを支える土台である「睡眠」を追求し革新し続けることをミッションとして事業に取り組んでおり、創業から受け継がれている「三方良し」の精神をサステナビリティの基本理念に掲げ、ステークホルダーを含めた持続可能な社会の実現をめざしています。

〈みずほ〉は、この取り組みを中心に、特に SDGs の目標達成に対しインパクトを与える活動として、別紙記載のテーマについて定性的・定量的に評価しました。

また、株式会社日本格付研究所（JCR）から本件評価にかかるポジティブ・インパクト金融原則への適合性、および環境省の ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第 2 項(4)に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースが纏めた「インパクトファイナンスの基本的考え方」との整合性について第三者意見を取得しています。

〈みずほ〉は、インパクト評価ならびにインパクト測定・マネジメント（※4）をお客さまとのエンゲージメントを通じて行い、ファイナンス面からポジティブなインパクトの創出を支援していきます。また、今後もお客さまのサステナビリティへの取り組みについての多様なニーズに応えるため、SX 推進支援の拡充に取り組んでいきます。

<本件の概要>

融 資 先 : 西川株式会社

金 額 : 30 億円

資金使途 : 長期運転資金

実 行 日 : 2023 年 12 月 22 日

契約期間 : 5 年

Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO 一次評価書

(https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/finance/growing_field/pif_pro/pdf/2023_01.pdf)

※1 : 「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」

2022 年 10 月 6 日付プレスリリース「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」の取扱開始について

(https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20221006release_jp.pdf)

※2 : ポジティブ・インパクト金融原則

国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）の銀行および投資メンバーであるポジティブ・インパクト・ワーキンググループが 2017 年に発表した SDGs 達成に向けた金融の共通枠組みであり、持続可能な開発の 3 側面（環境・社会・経済）について、ポジティブ・ネガティブの両面からインパクト評価を行う包括的内容となっている。また、UNEP FI はインパクト特定のツールとして、気候・水・エネルギー・生物多様性・文化・伝統等 22 のカテゴリーからなるインパクトレーダーを提示している。

※3 : 社会的インパクト

「短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的なアウトカム」のこと。アウトカムは、事業や取り組みのアウトプットがもたらす変化、便益、成果のこと。

※4 : インパクト測定・マネジメント（Impact Measurement and Management, IMM）

グローバル・インパクト投資ネットワーク（GIIN）の定義に基づき、ネガティブなインパクトを低減させ、ポジティブな社会的・環境的インパクトの意図的な創出について、その測定とマネジメントを実行すること。

以 上

特定された インパクト	KPI（グループ会社を含む）	SDGs
		17 の目標
雇用 健康・衛生 教育 （ポジティブ）	・「ねむりの相談所®」の拠点数（累計） 目標：2030 年 1 月期 300 か所 ・「眠りのプロフェッショナル人材」の育成人数（累計） 目標：2030 年 1 月期 180 名	  
包摂的で健全な 経済 健康・衛生 （ポジティブ）	・「ちょっと寝®ルーム」の導入件数（単年） 目標：2030 年 1 月期 15 件 ・「快眠セミナー」の実施回数（単年） 目標：2030 年 1 月期 120 回 ・「睡眠改善プログラム」の実施回数（単年） 目標：2030 年 1 月期 30 回	 
雇用 健康・衛生 （ネガティブ）	・重大労働災害発生件数（単年） 目標：2030 年 1 月期まで 0 件を維持	
水（質） 資源効率・安全性 廃棄物 （ネガティブ）	・不要となった羽毛ふとんの回収枚数（単年） 目標：2030 年 1 月期 5,000 枚 ・羽毛ふとんのリフォーム件数（単年） 目標：2030 年 1 月期 14,500 件	  
気候 （ネガティブ）	・西川株式会社における社内 LED 比率 目標：2030 年 1 月期 100%	 